

	目
序	1
第一章 「学制」とジェファソンの教育	
法案	7
第一節「学制」とジェファソンの教育	
法案の類似性	7
第二節ジェファソンの教育法案に	
対するスコットランド教育	
制度及びフランス教育制度	
の影響—ピラミッド型ラダ	
ーシステムと中央集権的教	
育行政組織の組み合わせ	10
第三節ジェファソンの教育法案の目指	
すもの	
—自然の貴族制の確立—	15
第二章 「自然の貴族制」の「学制」へ	
の導入	
—その可能性について—	25
第一節福沢諭吉と中浜万次郎	25
第二節フルベッキと「学制」	33
(1) フルベッキと大隈重信との出会い	33
(2) フルベッキの人柄と「学制」の制定	
—南校教頭及び公議所顧問として—	45
(3) 岩倉使節団派遣の立役者フルベッキ	
と「学制」の制定	53
第三節フルベッキの斡旋で渡米した者	
と来日した者	66
第三章 マーレイの招聘	
—マーレイの選ばれた理由—	85
第一節マーレイのアカデミー的性格	85
(1) アカデミー出身者マーレイ	85
(2) アカデミー的性格のユニオン大学	90
第二節マーレイとラトガス大学	91
(1) 宗教に対する態度	91
(2) 自然科学に対する態度	95
(3) ラトガス大学におけるマーレイの貢献	98

	次
第三節マーレイと「日本の教育」	101
(1) 森書簡の性格	101
(2) マーレイの森書簡に対する回答	109
第四章 マーレイと「学制」の実施	123
第一節マーレイの「学制」観	
—マーレイの問題意識—	123
第二節「学制」の実施	
—自然の貴族制確立への努力—	132
(1) 先ず初等教育と高等教育	
—中等教育は地方並びに民間の	
手で—	132
(2) 有用なる知識の普及の試み	141
(3) アメリカ教育技術の導入	143
(4) 高等教育機関の充実へと重点移行	159
第三節自然の貴族制確立の困難さ	170
	結びにかえて
—ピラミッド型ラダーシステムの確立	
とその問題点—	193